

日本予防理学療法学会 COVID-19 関連エビデンス

海外情報

No.24

調査者	岡本 祥吾
情報ソースの刊行日	2020年4月16日
情報ソースの調査日	2020年5月13日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月16日
日本語タイトル	小児 COVID-19 の臨床的特徴と診断の課題： システマティックレビューとメタアナリシス
情報ソース	PubMed
情報のカテゴリー	COVID-19、Children、systematic review and meta-analysis
発信地域	台湾
DOI	10.1016/j.jfma.2020.04.007
URL	https://doi.org/10.1016/j.ctcp.2020.101166
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・小児における COVID-19 に関する臨床的特徴について、7割の患者に家庭内接触歴あったとされている。 ・疾患の重症度としての殆どが軽度～中等度であった。また、集中治療を受けたのは僅か2例であった。 ・症状としては、59%に発熱と6%に咳を認めていた。12%に消化器症状があったが、26%は無症状であった。 ・レントゲン所見として、約半数の患者にすりガラス様陰影あり。 <p>※現時点では、COVID-19 の症状のある母親から新生児への垂直感染の影響は示されていないとされている。</p>
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	未だに報告数の少ない小児の Covid-19 に関する情報が記載されている。今後、小児患者を介入する際や日常的な予防として役立つものと考えられる。